さぼう早川

発行・連絡先/国土交通省関東地方整備局 富士川砂防事務所 早川出張所 〒409-2713 南巨摩郡早川町保1227 TEL0556-45-2319

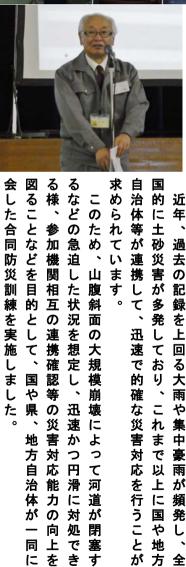
http://www.ktr.mlit.go.jp/fujikawa/ (Eメール)fujikawa@ktr.mlit.go.jp

平成25(2013)年

3月発行 (vol. 75)







このため、

山腹斜面の大規模崩壊によって河道が閉塞・

参加機関相互の連携確認等の災害対応能力の向上

国や県、

地方自治体が

同 にを



〇訓

な土 月二十· 王川 九日 域の 早川 市 町 民会館で、

災訓練を行いま 害が 起 ときた場 などでつくる富士川 合の対応方法などを確認する合同 町長参加のもと、大規富士川流域砂防連絡会 大規模

練参加機関

求められています。 国的 近年、過去の記録も関東地方整備局、同 治体等が連携して、 体等が連携して、迅速で的確な災害対応を行うことがに土砂災害が多発しており、これまで以上に国や地方 梨県峡南建設事務 Ш 町、 過去の記録を上回る大雨や集中豪 山梨県砂 防課、 富士川 砂防事務 山 山 梨県 梨県防災危 峡 所 南 地 機管理 域 県民セ 雨が頻発し、 ンター 全

者は自機関がとるべき行動を「回答」するかたちで進行 か、 対応に関する「質問」を行い、 訓 源練は、 た。 進 行者が訓練参加者に、 想定した災害の状況に応じた情報が提供される その状況に応じた様々な災 それに対して、 訓練参加

関内にて相談 練参 Ō 際に実施すべき事項の把握 加 者 は 回答に 状況に応じた回 要する時間 答の発表を行うことで 確認を行いました。 的 余裕が少ないな か、

行がい

本

村 I バ 事 -期間 1 /۱۹ 中 ス ഗ ご協 復 IΒ カ I あり がとうござい が 完 成 雨 畑 ま L 川

な用復すエい 一を平 ・ 月二十二 部流失し 0 事 期月 間二十 年 は五 ま H し本九 様 た村 月 に バ Þ 復 に なご 1 早 旧 山 パ 加 梨 工 ス 協 事 町 県 五 غ 線 が を を 協 を 襲 完 頂 成議 兼 2 た き し し ね ま た 台 通 行 国 雨 風 し + = たことに 開 土 畑 始を通付 号 致 省 内に 感 がの ょ ま復りましまります。 謝 9 事て 申 し たエ 用雨 事 上 道 畑 げ を路沿

お道旧 し 路 積した 雪 兼本 - 村 洪 早 バ 水川イ 時町 パ 等 道 ス は ー は ح 十 従 し 前 分 て の 注 ょ 通 うに 意 行 し し て て 通 頂 富 行 け ま を 士 な す Л 願 砂 防 71 し 事 ま 務 す 所 工

事

ま



今年度の早川出張所管内においての主な出来事 4月 新たなスタッフ9名で、新年度スタート 5月 南アルプス早川山菜祭りに参加 砂防ブース設置、パネル展等 6月 土砂災害防止月間(1日~30日) 砂防現場体験学習会が残念ながら台風の影響で中止 7月 河川一斉清掃(山梨県主催) ・南アルプス邑ふれあい広場にて清掃及び除草作業参加 9月 大学生等を対象としたキャンプ砂防を開催 ・早川出張所管内においては、4日に研修を実施 早川町民会館において富士川砂防塾を開催 ・45名の方々が参加 1月 早川町民会館において大規模土砂災害合同防災訓練を実施 今年度もご協力ありがとうございました。引き続きよろしくお願いします。

か た ₽ しに わまいなあ台た案先編ったまどり湾が内日集 ま 見 Ŋ, ح の す た気分でし 話 近 い通る 台 · うと、 を年 訳 機 湾 伺 大 を の うと、

湾岸

雨

で、

立

観

光

金 方

融

的

に

華

Þ

か 流

な

世

界

の

裏

の

面

を

たま

あも

つ川

害

台湾 た b , る 姿 で が 写は 即 真 へ を 撮 が · 象 深 っ 降 か た つ 5 ŋ , た な で V とて す ら し ъ

た

さ



後 記

た

会が 通 砂 し あ 防 ŋ て 関 の の ま 係 億 都 説 し の 市明た 視 察 部は 米が難 日 団 の思し本の 土いい語砂浮もが 方 を がかのし でや春 ベ れらしべ 木 出れたれ川 る ح 大が、中 方 雨 ъ 畑 国 お川 が山語 らの れ現 ま場